

「上手です」的「得意です」的区别？PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/251/2021_2022__E3_80_8C_E4_B8_8A_E6_89_8B_E3_c105_251942.htm

他人のことを言うときには「得意」、「上手」ともに用いることが可能ですが、自分の技量について述べるときは「得意」は使えても「上手」は使いづらい印象があります。提到他人的事情时，「得意」、「上手」都可以使用，但叙述关于自己的技能时，会有如下的印象，可以用「得意」，却不使用「上手」。このいはやはり者の意味のないに起因しているようです。どちらも技量を述べるのに用いられますが、「得意」は主体自身が己の技量にして抱いている自信を表したり、また技量の度合いの高い子をあらわしているのにし、「上手」は主体の技量自体というよりは主体の行から生じるありさま、たとえば何かを生み出す行なら生み出された物の、行自体であればその行の子をしていると思われれます。つまり、「得意」は何かを生み出す能力（の自）を表し、「上手」はその能力によって生み出されたものへのを表しているということです。者のいでは特に「」を表し得るか否かという点が重要です。このいは次のような例をると明らかになります。这样的区别归根结底是由两者意思之间的差异而引起的。虽然两者都可以用于表述技能，但「得意」表示主体自身对自己技能所持有的自信，或表示技能很强的状态，与此相对，「上手」比起主体的技能本身更注重通过主体行为生成出来的东西，比如若是能生成什么东西的行为，就主要描述生成的这种物体的状态，若是行为自身则可认为对

该行为状态的评价。也即是说，「得意」表示生成什么的能力（自知），「上手」则表示对该能力生成出来东西的评价。两者的区别特别体现在是否能“评价”这一点上，非常重要。这点差异从下面的举例中可以明显看出。　　このは上手に描けていますね。（正确）×このは得意に描けていますね。（错误）は生物であるため、生物（あるいは生行）にするとして「上手」を用いることは可能ですが、主体の持つ技量を表す「得意」を「」にして用いることは出来ません。また「上手」のである「下手」も「このは下手だ」のように用いることができますが、「得意」のである「苦手」は「このは苦手だ」としてもの意味にはなりません。また「苦手」は「豆が苦手だ」のように技量の有からじて好き嫌いも述べられます。このように「得意」、「苦手」というより主体の意を表していると言えます。因为画是生产物，对于生产物（或生产行为）的评价可以用「上手」，但表示主体拥有这项技能的「得意」却不能对「（画）」使用。此外，「上手」的反义词「下手」也可以用于类似「このは下手だ（这幅画真差）」这样的评价，但「得意」的反义词「苦手」若用作「このは苦手だ」则丝毫没有评价的意义。「苦手」还可以用于如「豆が苦手だ（我吃不了纳豆 我不喜欢纳豆）」这般从技能有无转为个人好恶的表述。如上所述，「得意」、「苦手」可以说比起评价更表达了主体的意识。ここから考えると、自己の技量を述べる時「上手」を用いることがためられるのは、本来他者が行うべきという行（特に高める）を自己にして行うことへの不自然さ、傲慢さといった点に起因していると思われる。一

方で「得意」は技量にする意を表すため、自己の技量を述べるになく使えるということになります。ただし自己を低めるはにつながるため「私のが下手です」ということができます。从这点上来考虑，之所以在叙述自己技能时不能使用「上手」，起因为原本应该是对他人评价的行为（尤其是高度评价）用在自己身上时会产生不自然、傲慢的感觉。另一方面，因为「得意」表示针对技能的自知，所以在叙述自己技能时可以无顾忌的使用。但是，由于涉及到自谦，在对自己评价不高时用「私のが下手です（我画画得不好）」是可以的。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com